さんい

WORK PLACE MANAGEMENT

熱意 誠意 創意

日野サービス興業㈱
発行責任者
本社　村岡　将企
（感染症対策責任者）
さんい製作委員会
令和5年11月15日発行
第１９７号

スポットライト

子どもは親や教師の
「いう通り」にならないが、
「する通り」になる。

子どもに何かを伝えるのに言葉はいらない。
ただ、誠実に努力して生きていくだけでいい。

渡辺和子「置かれた場所で咲きなさい」より抜粋

安全は一人一人が責任者

今月の改善事例

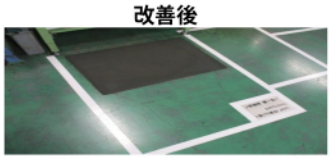
直近の安全パトロール指摘事項とその改善事例を展開いたします。まずは、作業場の白線が一部欠けていたり、はがれそうなど白線の劣化が目立つという指摘がありました。白線は安全を確保するためにとても大切な役割を果たしています。所定の置き場や停止位置がはっきりしていないと事故や誤品のもとになります。劣化した白線テープはすぐに補修し、各作業者に定期的なメンテナンスをするように指導しました。次に、包装材収納棚の引き出しが閉まっていない、棚の下や間に、不用品が置かれているという指摘がありました。引き出しが飛び出していることで起こりうる危険を考え、使用後はきちんと戻すよう指導しました。また、不要なものは、つまづきや転倒の危険性があります。不要なものは、処分するか、適切な場所に移動するようにしました。安全は、私たち全員の責任です。日々の仕事を安全に遂行していくために、安全への意識を高め、事故や怪我のない職場づくりを目指していきましょう。

改善事例

改善前

全体的に白線の劣化が目立つ

改善後



新しく白線が引かれきれいになりました

広がる感染症に備えて

例年、寒さが厳しくなる十二月から一月にかけて本格流行期入りすることが多いインフルエンザですが、今年は、昨年からの流行が収束することがないまま、新たな本格流行期を迎える異常事態となっています。東京都内でもインフルエンザ患者が増加しており、これからピークに向けて流行の拡大が心配されています。新型コロナウィルスの同時流行にも注意を払いながら、引き続き適宜マスクの着用や手洗い・うがいなど、感染対策をお願いします。また、今年も当社従業員の方を対象にインフルエンザ予防接種の半額補助を実施しています。感染症に備えて、ぜひ活用しましょう。

実りの秋に感謝して

獲りたての美味しい新米と青梅の卵

味覚の秋、新米のおいしい季節となりました。新米は一般的に、秋に収穫し、その年の十二月三十一日までに精米されたものを新米と呼んでいます。古米と比べて、水分を多く含んでいるため、もちもちとしたその食感と甘味が特徴で、ごはん本来のおいしさを味わうことができます。今年もそんな獲りたての美味しい新米がみなさんに用意されました。また、今年は一緒に青梅の美味しい卵も用意されました。卵かけごはんなどにして、新米を楽しんだ方も多いのではないでしょうか。私たちを楽しませてくれるそんな実りの秋に感謝しましょう。

現場Channel

他社災害情報

直近の災害事例を展開いたします。

①台車による災害

運搬台車の間を通り、通路に戻ろうとした際に、運搬台車の転倒防止ガイド部に両足が引っ掛かり転倒し、右ひざを床面に強打した事例があります。また、供給台車から部品を取り出す際に、台車のフレームが曲がっていて、指を挟んだ事例があります。自職場においても、狭い、通りにくいなどの状況や、設備、台車などに異常を見つけた時は、管理者に報告するか、CCCF吸い上げシートなどを活用してすぐに報告できるようにお願いいたします。

②切創による災害

サンルーフ開口部の触手検査時に、指をエッジ部に触れてしまい切創した事例があります。切創事故は、あらゆる現場、環境で起きやすい事故の一つです。切創事故を未然に防ぐためにも、カッターや板金物などを扱う際は、保護具をきちんと着用し、正しい持ち手で作業するようにしましょう。

豆知識

「塩こうじ」

食材のコクやうま味を引き出す調味料として、今や定番の「塩こうじ」。酵素を多く含むこの塩こうじは、腸内環境を整えてくれます。人間の免疫細胞の約七割は腸に存在しているとされているので、継続的な塩こうじの摂取が、美容効果や免疫力を高めてくれます。

お知らせ

▽**年末調整の書類提出について**

今年も年末調整の時期になりました。各種用紙が配布されますので、期日までに提出をお願いします。また、扶養内で配偶者に収入のある方は、その収入金額を申告する必要があります。申告金額が少ないと、追加で税金を徴収されますので、十分確認してください。

▽**今月の行動指針**

十一月の行動指針は、「無駄な時間をなくしましょう」です。

一日一話

深める

人が行き詰まるのは、いつも同じことを同じやり方でしているからです。

人と同じことをするのは何も考える必要がないぶん、楽だけれども必ず行き詰まります。

行き詰つまらないためには、広げるのではなく、深めることです。深めると、自然に広がるようになります。

いい物と深く接し、いい人と深く交わる。心すべき生き方だと思います。

鍵山秀三郎「一日一話」より抜粋

裏面へ
▶